

「研修会等名称」  
日本私立大学連盟 私立大学フォーラム 「大学教育の本質を考える」

場所：パレス宮城野（仙台市）

期間：2006年10月21日

## 1. 研修の内容

フォーラムの構成は以下のとおりであった。

1. 講演（13：00～14：00）  
寺崎 昌男（立教学院本部調査役）
2. フォーラム（14：10～15：10）  
鈴木 典比古（国際基督教大学学長）  
松本 亮三（東海大学文学部教授）  
吉岡 俊正（東京女子医科大学医学部教授）
3. ディスカッション（15：30～17：00）  
鈴木 典比古、松本 亮三、吉岡 俊正、寺崎 昌男  
（司会）大西 直樹（国際基督教大学教養学部教授）

寺崎氏の講演においては、明治から現在までの日本における高等教育の歴史が振り返りながら、大学教育目標を設定しスコープ/シーケンスを提示してカリキュラムを組み立てていかなければならないことが示され、学部教育は「教養ある専門人の育成」ではなく「専門に立脚した教養人の育成」にシフトしなければならないことを述べられた。また、プロフェッサーであることは研究+教育の2つでは足りず、地域貢献やインターシップをも取り込みながら学生の変化に対応していくこと、また大学の特色化を図ることの重要性が述べられた。

鈴木氏は、大学教育の本質は「18～25歳くらいまでの青年男女が自己を見つめ、個を確立し、責任ある社会人・次世代リーダーとして人生を送ることができるようになるための訓練」であると明快に割り切った。しかし、日本の大学は教員・学生比が1：35～40程度の水増し教育であり、これでは大学教育の必要条件が満たされておらず、大学は適正クラス規模を守るとともに教員個々人も授業を改善しなければならないことが示された。

松本氏は私大連盟教育研究委の立場から、16の提言を説明された。特にミニマム・リクアイアメントの設定については会場の関心を呼んでいた。

吉岡氏は医学部での教育実践について、PBLチュートリアル教育やシミュレーション教育の実例を紹介された。

## 2. 研修の成果

当初、講演およびフォーラムでは、内容が建前に過ぎるように感じた。大学教育の本質が「18～25歳くらいまでの青年男女が自己を見つめ、個を確立し、責任ある社会人・次世代リーダーとして人生を送ることができるようになるための訓練」であったり、「専門に立脚した教養人の育成」であったりすることは、少なくとも中堅以下の私大においては不可能である。

ディスカッションにおいては、発言を許可された加納の質問に端を発して、様々な大学の教員（講演者等を含む）が教育困難な現在の大学教育の実像を語りだした。

ある教員は、「大学に勤めているのか更正施設に勤めているのかわからない」と発言した（大いに共感するが、発言したのは私ではない）。ある東大名誉教授は、定年後に私大に赴任されてみるとそこは戦場であったと述懐された。中堅以下の私大学生にとっては、「大学教授」も「東大名誉教授」もただの「うぜーオジン」にすぎないことがわかる（「ウゼー」「ウルセー」「何だ、このオヤジ」は、本学において不良喫煙者を注意する際に教員に対して最も多く投げられる言葉でもある）。教員を尊敬も尊重もしないところに、教育は存在できないのではないだろうか。

ICU学長の鈴木氏は、禁煙場所での喫煙やスケボーに対し陣頭に立って注意されていることを述べられた。本学学長にも是非陣頭に立っていただきたいものである。ただし、ICU学生は学長に対してそれなりの敬意をもって接している様子が伝わってきたが、本学では学長が注意の陣頭に立たれたとしても不良学生からは「うぜーオジン」扱いされるだけであろう。ICUとの学生の質の差を実感させられる。

懇親会においても、多くの教員が加納のところに教育困難校（本学豊橋校地地であれば経済学部のようなところ）の実態について話に来ていただいた。他の大学（主に東京の中堅校）でも同じ悩みを抱え、また多くの教員が生命を危険にさらしながら同じように努力されていることを実感でき、大いに励みになった。

## 3. 授業への研修成果の反映状況

（この項目、なぜ「授業」に限定的なのでしょう？ 私個人について言えば、いま最も困難に感じているのは経済学部生の傍若無人な態度および違法行為に関する授業外の指導ですが...）

授業への成果反映としては、医学部で実施されているとして紹介があったPBLチュートリアル教育をタイ語教育に活用することにある。授業におけるタイ語のロール・プレイングによる問題解決型教育の拡大、および学生による相互の教えあい教育の導入を早速実施した。もっとも、こうした教育法は教員・学生比率が1：1である医学部だから可能であることでもあり、粗悪な教員・学生比率を適用している本学においては必ずしも汎用性は期待できないだろう。

学部長	FD委員長	FD委員会	総合企画課長	係